議臺灣別志

完

826
83

国立国会図書館　タイトル『議台湾別志』　請求記号 826-83

ガラス使用

議臺灣別志

附征韓偉略議

826
特別
83

国立国会図書館　タイトル『議台湾別志』 請求記号 826-83

ガラス使用

2.6.9
請求

国立国会図書館　タイトル『議台湾別志』 請求記号 826-83

ガラス使用

帝國圖書館

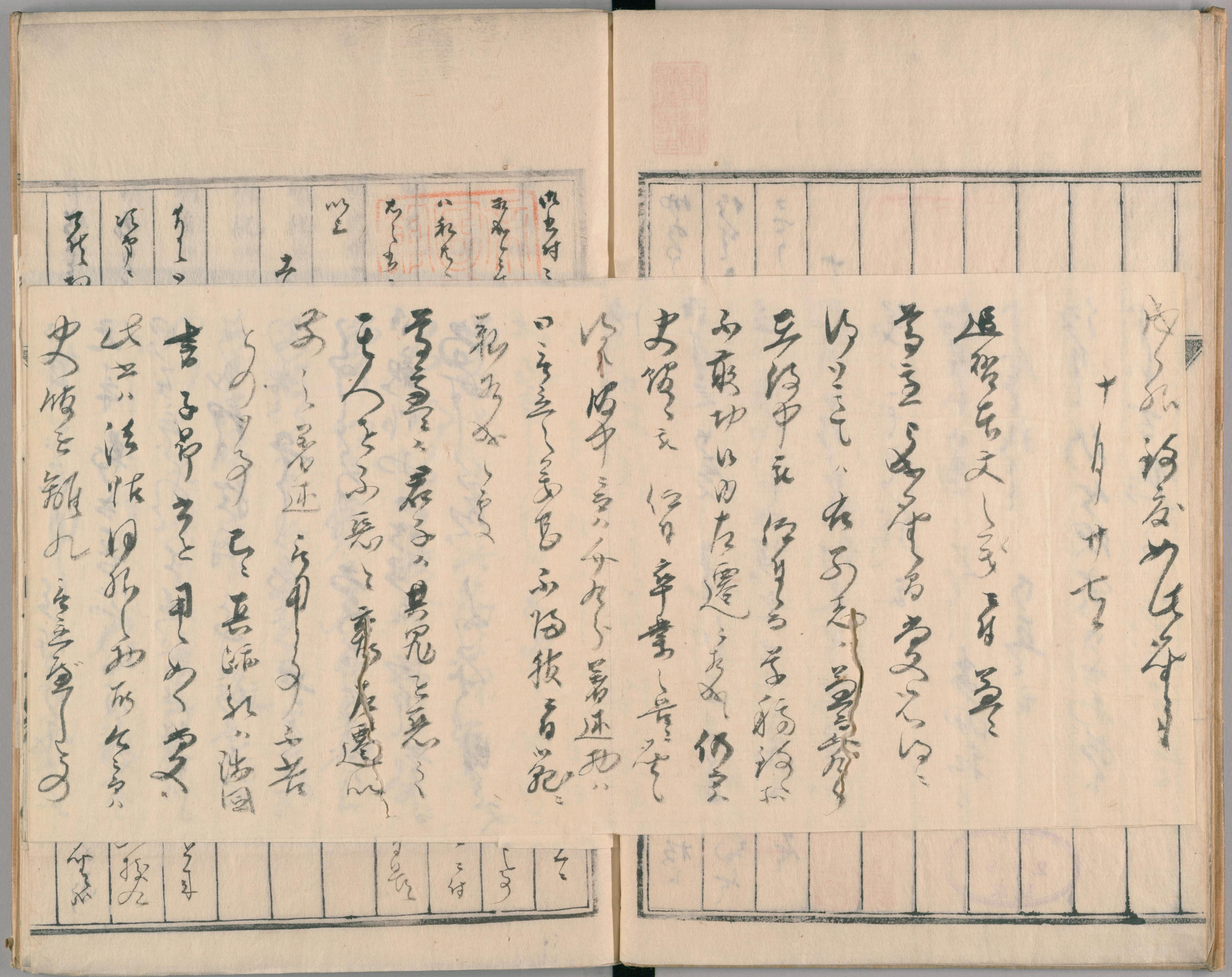
国立国会図書館　タイトル『議台湾別志』　請求記号 826-83

ガラス使用

帝國圖書館

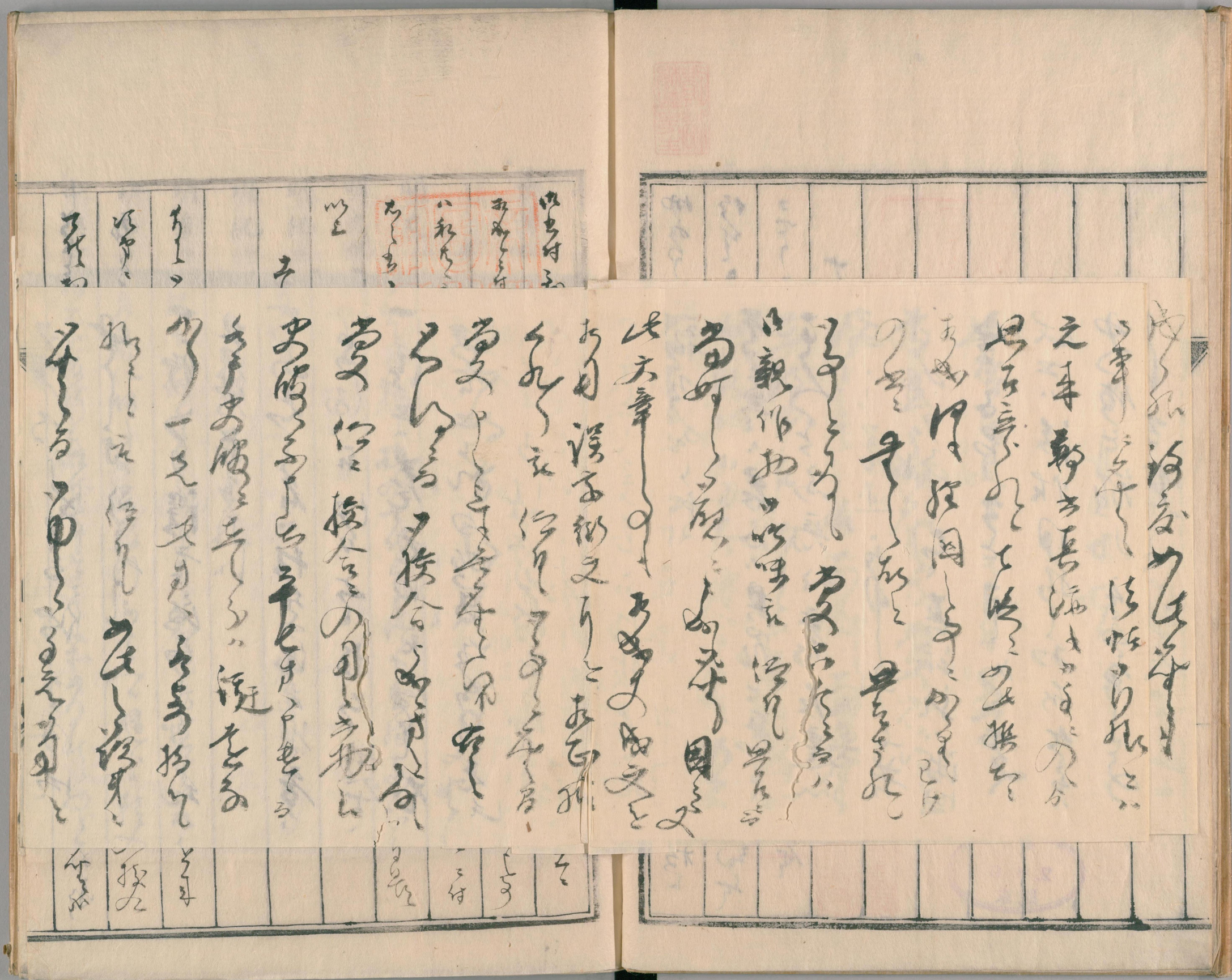
国立国会図書館　タイトル『議台湾別志』　請求記号 826-83

ガラス使用



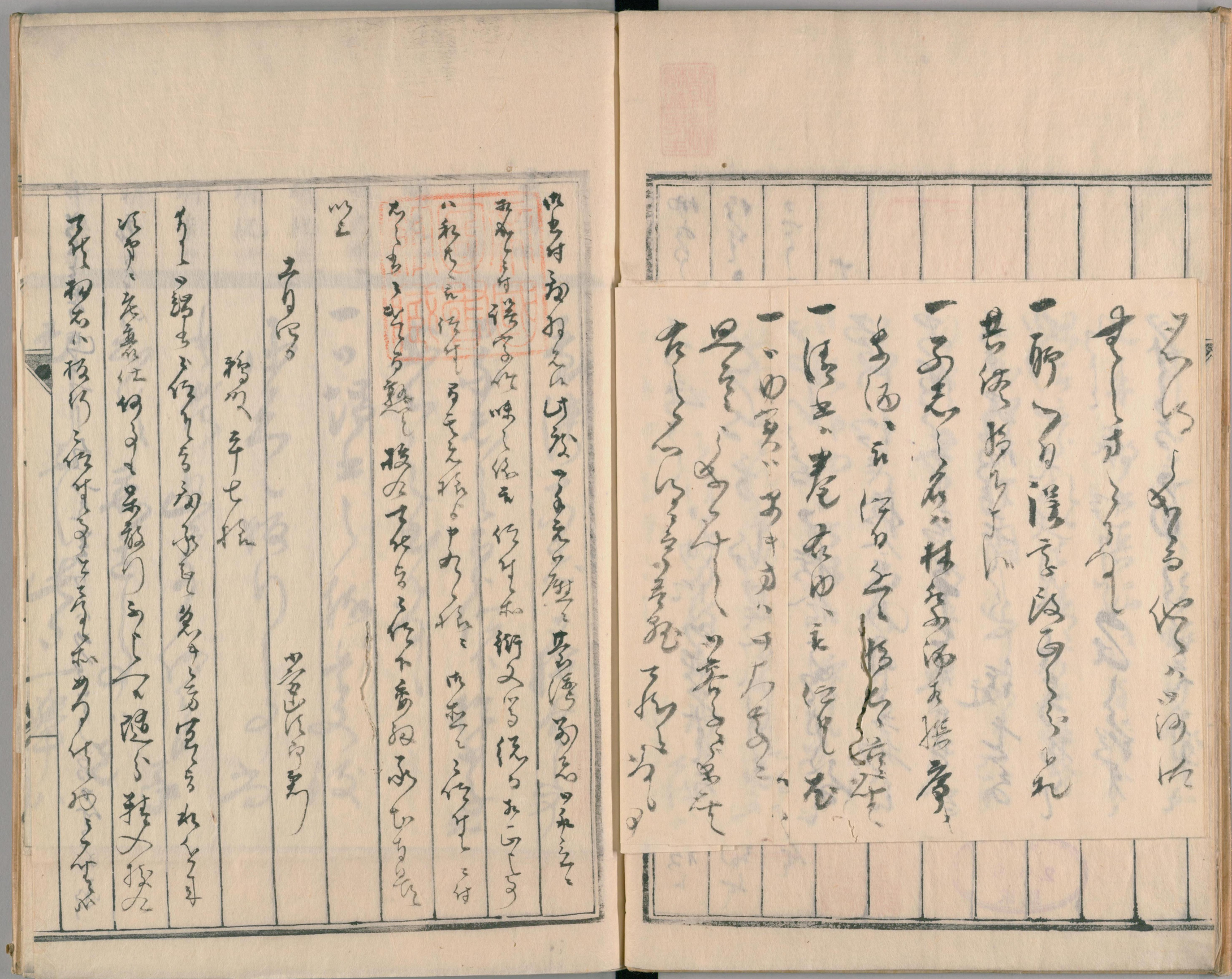
国立国会図書館　タイトル『議台湾別志』 請求記号 826-83

ガラス使用



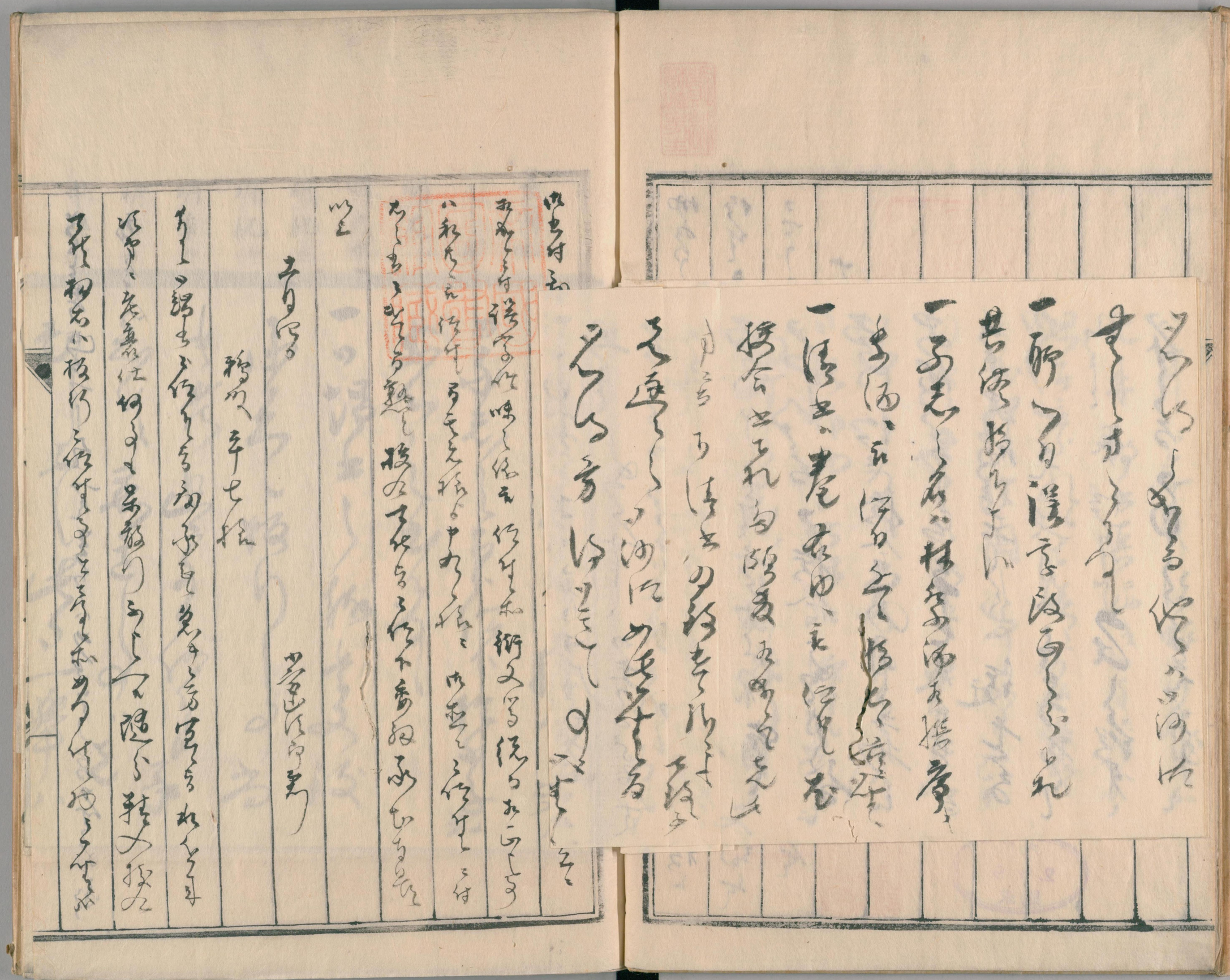
国立国会図書館　タイトル『議台湾別志』 請求記号 826-83

ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『議台湾別志』　請求記号 826-83

ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『議台湾別志』　請求記号 826-83

ガラス使用

臺灣割
明史
明史
明紀
明紀
明季
明季
中興

帝國圖書館

国立国会図書館　タイトル『議台湾別志』　請求記号 826-83

ガラス使用

臺灣劉
明史
明史
明紀
明紀
明季
明季
中興

国立国会図書館　タイトル『議台湾別志』 請求記号 826-83

ガラス使用

臺灣劉
明史
明史
明紀
明紀
明季
明季
中興

帝國圖書館藏

国立国会図書館　タイトル『議台湾別志』 請求記号 826-83

ガラス使用

臺灣劉
明史
明史
明紀
明紀
明季
明季
中興

臺灣劉

明史

明史

明紀

明紀

明季

明季

中興

臺灣劉

明史

明史

明紀

明紀

明季

明季

中興

帝國圖書館

国立国会図書館　タイトル『議台湾別志』 請求記号 826-83

ガラス使用

臺灣割去

明史 清

明史藝

明紀事

明紀編

明季遺

明季遺

中興實

国立国会図書館　タイトル『議台湾別志』　請求記号 826-83

ガラス使用

臺灣別志

明史 清

明史藁

明紀事

明紀編

明季遺

明季遺

中興實

帝國圖書館

国立国会図書館　タイトル『議台湾別志』　請求記号 826-83

ガラス使用

臺灣割據志

引用書目

明史　清張廷玉等撰

明史藁　清王鴻緒

明紀事本末　明谷應泰

明紀編年　明鍾惺

明季遺聞　清鄒漪流

明季遺聞評　明張斐

中興實録　明馮夢龍

国立国会図書館　タイトル『議台湾別志』　請求記号 826-83

ガラス使用

臺灣割據志

引用書目

明史　清張廷玉等撰

明史藁　清王鴻緒

明紀事本末　明谷應泰

明紀編年　明鍾惺

明季遺聞　清鄒漪流

明季遺聞評　明張斐

中興實録　明馮夢龍

国立国会図書館　タイトル『議台湾別志』　請求記号 826-83

ガラス使用

三藩紀事本末 清楊陸榮
閩書 明何喬遠
兩朝從信録 明況國元
三朝實録 清希福等
臺灣紀略 清林謙光 ○以下四部詭鈔所收
臺灣雜記 清季麒光
談往 清人匿名稱花村看行侍者
畫壁詩 清范承謨
平臺紀略 清藍鼎元 ○以下四部龍威秘書所收

外國竹枝詞 清尤侗
名家詩人小傳 清鄭方坤
蓮坡詩話 清查為仁
行在陽秋 明人范氏失名 ○以下七部八家集所收
粤游紀聞 明瞿共美
求野録 明人匿名稱客溪樵隱
也是録 明人匿姓稱桐山樵隱冥鴻氏元益
吴三桂傳 以下三傳清人某稱外史氏
尚之信傳

国立国会図書館　タイトル『議台湾別志』 請求記号 826-83
ガラス使用

耿精忠傳
鄭成功傳 清鄭亦鄒
武經開宗 明黄獻臣
武備志 明茅元儀
紀効新書 明戚繼光
池北偶談 清王士禎
香祖筆記 同
西湖志 清李衛
潛確類書 明陳仁錫

綏寇紀略 作者未考 ○以下三部寄園寄所寄所引用
兩朝識小録 同
菊泉集 同
舜水文集 明朱之瑜
西河合集 清毛奇齡
郡國利病書 明顧炎武
武德編年 日本林春常等
武德編年集成 日本木村高敦
和漢合運 日本釋圓智并吉田光由

国立国会図書館　タイトル『議台湾別志』 請求記号 826-83
ガラス使用

國史 日本澁井孝德
逸史 日本中井積善
華夷變態 日本林恕
外國異聞 日本水藩所纂
明季文字 同
南龍公言行錄 日本紀藩人某
義公行實 日本水藩安積覺等
南塾乘 日本林恕
鳩巢小說 日本室直清

外國通信事略 日本源君美
采覽異言 同
長崎夜話草 日本西川正休
華夷通商考 日本西川如見
東里新談 日本人失名○立原萬曰氏金子東里為號
明清闘記 日本前園噌武本姓徐氏父明人
臺灣軍談 日本人庸明失姓氏

總計五十九部

臺灣別志卷之九

此書ノ体略國ヲ本トシ内ニシ我 日本ヲ外ニシ書ニシタルモノ
ナリ其ノ文タルヤ之ヲ要スルニ明國人我 日本ノ事ヲ記シタル
日本ノ事ニ内ニ伝ル書ニハ者ハ者ハ相違セリ
我邦ノ事ニ付テハ振ハシカラサルモノ既ニ明人ニシテ
其ノ和中ニ於テ形ヲ移ハ事実ニ作ルノ事ニ
人ハ明人ニ出テ又ハ倭人ハ
事ニ付テ多ク参和ニ付テ
事ニ付テ
事物ニ付テ
世ニ

[illegible]

初テ臺灣古蹟ヲ[illegible]

日本人称シ塔仙河谷ト

日[illegible]後裔ノ臺灣ニ[illegible]

臺灣古蹟ニ書セシ又日本人称シテ書シ[illegible]

ヲ以テ後國ノ事ニ[illegible]ナドニハ向フ

漢ヲ[illegible]

[illegible]

三ツ臺灣[illegible]

世ニ中土又華音ナドヲ和是我邦ノ事ト[illegible]

[illegible]中華ト[illegible]ノ事ヲ[illegible]義ヲ[illegible]

[illegible]

四ツ永樂初[illegible]

五ツ嘉清末[illegible]　又日本臺遷民[illegible]

永樂嘉靖ト[illegible]

民シ[illegible]シ日本ヲ[illegible]民ト[illegible]我邦ノ[illegible]

[illegible]

五ツ日本長崎[illegible]　詔[illegible]沿海中國漢[illegible]

又嘉宗天啓元年[illegible]　日本元和七年

日本中國ノ[illegible]ヲ[illegible]ト[illegible]

明国臣民ニ向ヒ令ス（中略）且嘉定天啓元年等ノ日
平元和七年ノ頃ヨリ之ヲ和蘭ノ為ニ使用ニ帰シ其ノ
数ヲ以テ皆此ニ徴ス
七月官軍莫能抗朝廷始議詔撫
官軍敗績ス明国臣民ノ為ニ殺ル者多シ
九月ノ帝崩荘烈愍皇帝即位
荘烈愍皇帝即位ト雖モ人心和親ノ禁裡相同ス
ノ事ヲ
又翌歳暴清人明ノ年号ヲ用ヒ幕府台而見し
翌歳ノ年号ヲ此方ノ年号ニ倣ヒ又日本ノ字ヲ用ヒ
ヲ又一二ヲ幕府ノ令ヲ受ケ指掌ノ如ク
ヲ此ノ方ノ人ノ況ヲ上ニ以テ而ヲ
シ此ノ方ノ人ヲ連ル者ト幕府ノ
ラ而ノ人ヲ以テ明ノ人ハ明ノ
十三月先是嘉靖三十八年　幕府令敵政し
此和ト幕府ノ令ヲ東照宮ノ
嘉靖三年ノ年号ヲ倣ヒ
倣ヒ此ノ如ク
ノ
西丁ノ注　書芝龍父撫等歳

[illegible]年等の之年一見[illegible]高[illegible]仕[illegible]こハ一官[illegible]こと寛永
中ノ間ハ幕ヲ交ナリ[illegible]之[illegible]ハ[illegible]等[illegible]
[illegible]

十七丁ヲ十七年甲申　清太祖順治元年
日本ヲ法ノ[illegible]ヲ[illegible]
十七丁ウ清主章皇帝
法[illegible]
十八丁ヲ章皇帝即位[illegible]
[illegible]上ニ法[illegible]
皇ノ宮大宮殿[illegible]

十九丁ヲ注明遺民張斐曰—
張斐ニ限リ遺民[illegible]
廿三丁ウ中達[illegible]　○吉高—
註ニ○ヲ付ハ[illegible]ヲ付ス[illegible]
[illegible]
[illegible]
廿七丁ヲ隆武二年ニ幕府[illegible]
隆武二年ノ[illegible]幕府[illegible]上[illegible]
同ウ老[illegible]軍稜[illegible]
[illegible]

廿八年ノ為清兵被擒

コレハ所擒ノコレアル一ツ所ニテ上ニ為家アリテ被ノ家ハ世
ミヲト舞水ヲ生ノ説アリテ嘗テ為家ノ
行ヲ見ルヲ山ノ名ヲ付ケシトハ多クアツシ巷尾ノ長崎ノ
ヨリ加州潤ト称スルヲ為テ西一ツ名ニハ今ハ市ヲ八
今ヲ改ムル

廿九年ノ皇子琳原生

皇子ヲ上ノ皇帝ニ同シ

三十年ノ任法教官名

法教ヲ法師ノ官ヲ

三十四年ノ三藩及諸執政大臣誅ス

執政大臣コレハ 為義ノ子ノ和 経廷ノ大臣ト廿七
ト称ス

又紀伊南ノ日ノ

明ノ名年寛永ノ説ト中ノ人ノ 盛ノ猛コノ人ノ日シ年
コレヲ執政ヲノトス

同ノ幕府猜疑使ヲ長崎ノ 長崎平ノ

発使ハ遣使ニテアリハ 長崎ヲ行ノ称ニ改メ平ト為ル事
モノヲ中ニ名ヲ

日世中ニテ板行ヲ ヲハ 西国使ニ使ル 紀伊国板ヲ

[illegible]

三十四丁ウ 偽号紹風

偽号トヤハ法人ノ中ニ孔明ヲ見テ[illegible]ハコレニハ及ブ

シキヤトテ

三十六丁ウ注 葉者相近

葉者ノ[illegible]

同ウ注 日本沙汰海入明ノ太祖賜御製和其詩書集嘗海日番為僧

福後し事 彩石嘗石請祖宗攻事也〻又為大伯後〻〻

彼 後人安者ニ徐福ヲ以テ日本ノ祖トスルモノ 蘐陽集ノ日本ノ歌

始リ劉氏鴻書名山藏西山里讀通雅曰拾遺記稱

彩石嘗故ニアラズ又明名祖唱和ノ作ニ徐福ノ[illegible]アレドモ

徐福ノ後トイフナレトテ祖宗ノ故事ヲモ言ヒタルナシ

況太伯ノ[illegible]ハ此ニアラズ 此注イヤヽアルマヤ

四十三丁ウ 官軍復宝慶〻〻清主〻〻

コヽニ官軍トアルハ明ヲ正統ノ天子ト見テ清ヲ賊トセルニヌリナルナシ

又清主トアルモ清ヲ偽主ト見タルナリ サレド我邦ヨリコレヲ見ルトキハ

明モ清モ同ク外國ノ君ニテ差別アルベカラズコノ書法ヤアシヽヤ

改タキフナリ

四十九丁ウ之論在安南

之諭ヲ朱之諭トアリタシ

又成功賞罰書ヲ之諭曰〻〻 寛平現行

[illegible]

[illegible]

[illegible]

五十九ヲ注 本藩所蔵五言絶句〻

本藩ヲ我水戸府ナト〻改称ス

六十八ヲ長崎尹末次政直

先年万国新話一覧ノ中書又キ元ニ崎陽郡官末次平兵ト

[illegible]

[illegible]

[illegible]

七十七丁の宗廟時忌丘墟

時字誤り私字史因部と考へ一字

八十二丁の進功子藩錫

進功の功字衍と思ふべし

又琉球降于日本薩州太守

日本薩州太守コレ新たに考へ出せり

考へ出せ共本書に偽上に偽の三国考へ

後世の例の所注疑多し陸奥考

一時の特命なるべし薩州と考へ

況薩州の太守なるべし特に薩州太守

と考へ出せり

と考ハ本ハヅに考へ異国の例と也州ハ刺史ニテ郡の守なり

考へ出せ共本書に考へ出せ

八十四丁の聖祖ノ字

聖祖の字皇帝の諱に同じ

八十六丁の大西洋人

大字ハ刑名

九十二丁の以偽大学士夏国相

偽の字清人の云ふ所なれば異の字に換へ

九十八丁の詔息天下兵

詔の上に清主と有り本文に同

百五十ノ長孺ニ

巻端ノ縹紙川口長孺考文ニ編撰ノ字ヲ除キ其ハ口ノ長孺

自人ヲ名ノ重ヲ上ニ

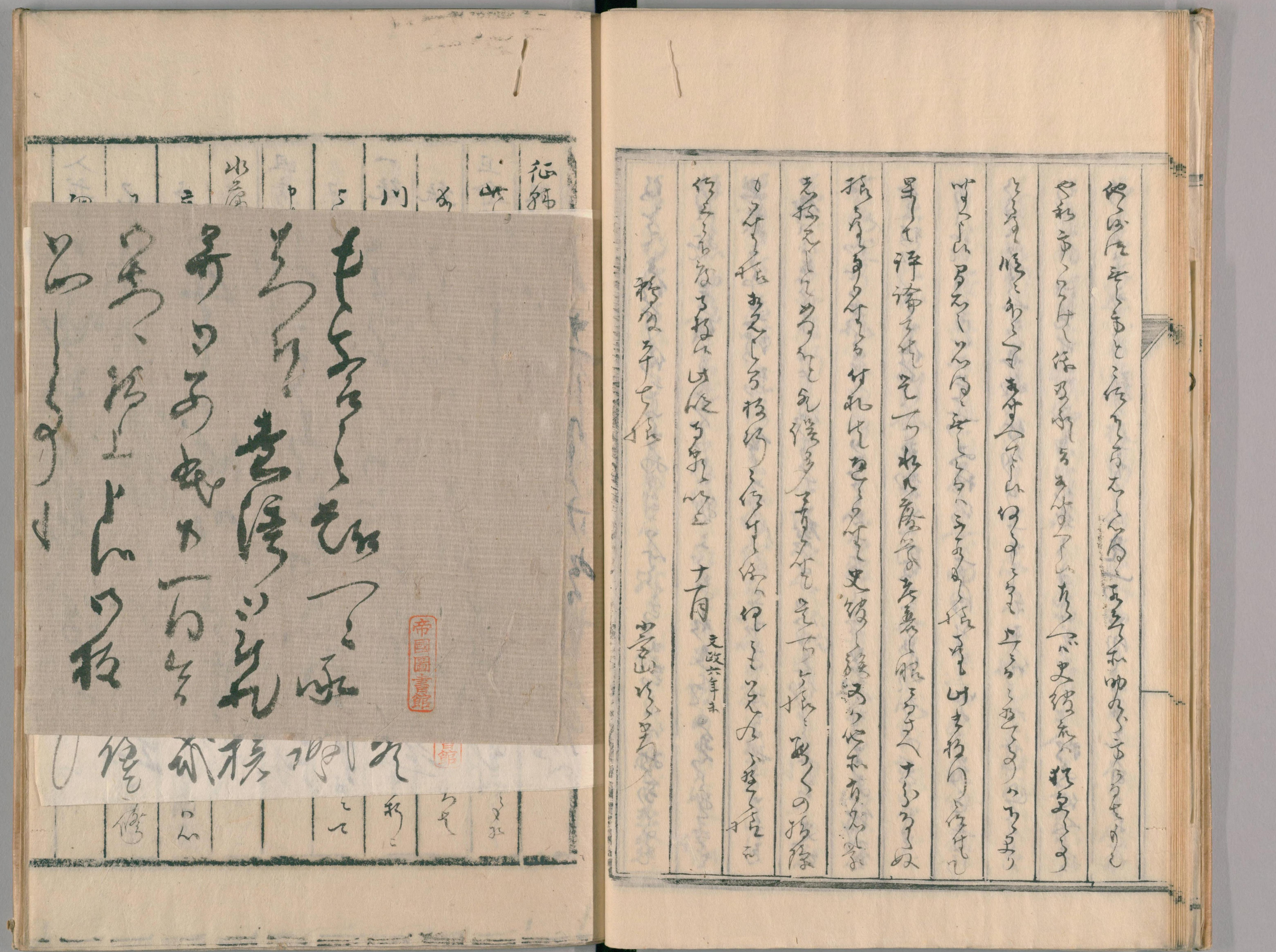
[illegible]

[illegible]

[illegible]

国立国会図書館　タイトル『議台湾別志』　請求記号 826-83

ガラス使用



帝國圖書館

国立国会図書館　タイトル『議台湾別志』 請求記号 826-83

ガラス使用

帝國圖書館

国立国会図書館　タイトル『議台湾別志』　請求記号 826-83

ガラス使用

征韓偉略

此ヲ板垣ト云フ百一町ヲ板垣ヲ過シ西ニ行ク

一板垣板垣ヲ過テ西ニ行ク南北ニ二町

川ヲ渡ル

ヲ過ル

ヲ過テ千三百一町

中略

水戸藩西史理藏川ヲ長距書

[illegible]西史德藏 四字ヲ[illegible]西史ヲ[illegible]

[illegible]

理藏ヲ[illegible]

水戸藩彰考館修

入我沿海避之汐乙背同者亦殺入我邦擾朝鮮 一ノ二十オ四行

コレハ本書ノ文ヲ改修セントモノト見エレトモ入沿海ノ字見ヱ申ズ

ニ其ヒ〻ヲトヲモ改修セレニハ入海避之皆来投化汐乙背同者

亦在其中遂擾朝鮮ヽヽナドアラバ穏ナンヂヤカ

且秀吉亦非平氏裔 五ノオ注

コノ八字無用ニ属ス前ノ十字ニ似タリ

一統六十餘州 有流留之憂 七ノオ八九行

統ヲ統ニ作ル流留伝代記作流滞

且命以攻明之日朝鮮為先驅 十ノオ六行

且命攻明之日以朝鮮為先驅ニテ可ナラシカ

注直據我五島 十ノウ四行

五島ヲ奪テ據リタルガ如シ直ハ宜シクヨリナレバタト一明史ニ據トアリ

トモ遷ノ字ナドニヲ(ニテ)ヲ(ニ)ヲカ

羅山文集 十二ノオ注

羅ハ羅カ

来島兄弟 本書名欠○按ヽヽヽ十三ノオ六行

コノ引書秀吉傳伝代記トモニ其名ヲ兄弟ノ字ナシコレハ太閤記ニ

テモタンヂンヂシトモ八書ニテキフナレバ初ルデシ且兄弟五人ノ名ヲハ

藩翰譜ニ其名ヲ乃茂乃茂乃茂乃茂トアレド本ヲ引注ス

ルニモ及ハス

侍従久留米秀包 日叶

久留米ハ地名ナリ氏ハ毛利ナリ天正ノ末ニ筑紫ノ国ニ久留米城

後ト云ハ仙台侍従ナド云ヒ同シ 下同

上野介流紫房沈 日上

朝鮮軍ニ房門ヲアラハ門ヲ伐ケトアレドモ名乗ナシ

東照宮 十三ノウ

京都ノアルモノ校行ニ加ラカタレトモモノツリ西四郎くの

ナ将徳川秀康公

ナ将ノ人ニ公ノ字ヲ付ラレシカ若ノ字ニ公トカクヲ漢ニモ亡シ云ハン

ワノヨシナレドモ先ウハ此方ノ例ナレバ三公ニアラズメハ不ノナラシ春秋

ノ例五等在国皆称之曰公ト侍疏ナドニモ云ヘルモノトハ異ナリ

宰相上杉景勝 同上

参議トシテ二ノナラシ

小西飛騨守隨原如安 十四ノウ注

毛利元就卿 桑燭侯ト 藤原ニ作ル 皇明實記ハ藤原ニ作ル

後青陵白 十五ノウ注

後青陵カ

清正曰ク殿下今興明公陽日為先鋒 二十七オ一行

清正ノ言ニ小西ヲ明公ト云ハ(カヲ)ヲ字ナドカ加ヘナケレバ見

合セズ

洛中寂無一人　二十九ノウ九行

洛中ノ字太閤記ニハ朝鮮都ノコト用タル（ケレド洛ヨリ城中トメノヤウシ

群臣扣勅陽元遂罷之以金陸代之　三十ノオ七行

以金陸代之トハ金陸ノ人ノ名ト見タルヤウ書德安ノコト金陸為之トアリ金陸ヲトヲツヤウ金トハ柳成龍作レル書ニ（金トヲツルヤウトノ人ヲ又ノ金ト同シ二ケ所トモ改メテ柳成龍ト作ルベシ）ノ書ニ金トモテハ更ニヤウ（又ツヤウシ

小西日名作ル　據竹内氏ヲ　三十三オ注

小西日名トアルハ本書ニ同名トアルヤウ寫アヤマテルシ小西ハ姓ニ本ト

化今アリコノ者ニ小西ノ姓ノアタリテ同名ニセシヤウシ注トモニ改ムベシ據竹内氏ヲ又ハ

不詳我待志摩守為誰　三ノオ注

清西ノ傳氏並ノ志摩アリ或ハコレカ

羅山撰　ハノウ注

羅山ハコレニ同シ

平壤距京城日本路程五十里　ハノウ三行

日本路程トアルハ朝鮮路程トアルトハ異ナリコヽハ朝鮮路程トアルシ五十里トノ注ニ朝鮮五百里トアリ

湖口貴國十里即我國百里トアリ　雞林唱和集ニ嚴敦

国立国会図書館　タイトル『議台湾別志』　請求記号 826-83　ガラス使用

僧逸行長義智者玄蘇宗逸也而此書記仙巢事仙巢玄蘇
別號則此書為宗逸無疑故定書主ニオ注宗逸
玄蘇宗逸ハ一人ニハアラサル(シ)考フベシ玄蘇號仙巢流芳庵
福寺ノ僧東嬉後ニモアリ宗逸號竹渓居士執事壊錄ニアリ
仙巢名玄蘇竹渓居宗逸ト注セリ
秀吉其母國制五旬忌終十四ウ二行
國制ノ字イヤニナリ制ンニハシヤズ忌トモハ喪制ニハアラサルベシ七
ニ忌ノ堅氣集ニアリ
島津義久保守金化十六オ七行
義弘ノ下ニ及子ノ二字アリタシ

後藤次郎者素松前漁人也十六ウ六行
素ノ字ニテ可ナリヤ舊ノ字ニアラスヤ
行長大驚後進小西飛問之二十オ二行
明人ノ書ニ小西飛トアリトモコノ書ニハ改テ可ナラン下同
軍監小野木等謂三十二ノウ七行
小野木ノ名ナリテハ不可ナリ後ノ公卿トモリ玄蘇ノ二字入ベシ
朝鮮李時言ノ斬飢病落後者六十餘級二十三オ二行
殺ノ字人ノ字ニカヘテ可ナラン彼我ノ誤ナリ
經過十餘日程敵地二ウ二行
經過敵地十餘日程カ

此日卒ニ城衆 日上

是日ニハ 行ヘカ

顧更悉憊 五ウ五行

憊ノ字ヲ書ニ見ユス 部部ノ俗字ノ誤

秀家等與秀吉書 四オ注

與ハ日主カ

啓行尤易但當今明文兵来攻臣等皆屯聚京城擊而殲之 四オ八行

啓行尤易芳今臣等屯聚京城明兵來攻擊而殲之カ

而惟敬私許之和親 五ウ四行

コノ語上ニ連屬セヌガ如シ

以明主公主為日本皇帝皇后 五ウ九行

・伝代記ニ太閤ヲ大明皇帝ノムコニスヘシトアルコソ具實ヲ得タリトヲヘシ サラバ以明公主為秀吉夫人ト改メタシ

秀吉尚明公主 六オ注

コノ尚ノ字イカヽ、明國ノ臣トハ同レカラス 改テ娶ニ作ルヘキカ

以明帝公主為日本皇帝皇后……黒田家記説是矣 注之 同上

コノ注ノ意ニテハ 天子ノ皇后ト見タルサレド左ニハアラズ 秀吉ノ意ハ明帝ノ婿トナリ其國ヲ讓ラルヽ織田信雄ノ北畠ノ婿トナリ伊勢國司ヲ讓リシカ如クセントオモヒシナルヘシ 黒田家記ニ皇后トアリトモ亦秀吉ノ妻ヲヲヒナルヘシ 藏本十七ノ二ノ見合セズ

稚木島ハ不詳指何島也 ハウ注

不知カ不詳カ

暫休兵陷晉州 ナオ二行

陷ノ字屠カ拔カニテ我彼我ノ詞ナリ

山勢抱口烟浪軒 口字巻 ナニウ四行 有訛

口ハ江ノ字カ

牧使徐礼元ハ聞我兵向本州 ナ五ウ七行

本州ハ晉州ニテ可ナラン彼我ノ詞ナリ

進等血戰 ナ七オ六行

上ニ見ヘタル黃進ナルベケレバ黃進トアリタシ

秀家臣岡本稚丞 鍋島家記 ナ八ウ八行 作權之允

征韓録 細川譜 太閤記 皆權之允唯鍋島家記ノミニハアラズ稚ハアヤマリナルベシ

記牧使勇烈戰士伏 ナ九オ注

士ハ死ノ誤カ

稱木曾判官恰如日本人 同上

コレニテハ解セヌリニオモハル 蓋以木曾姓如當時稱呼ナドカ

賞秀元功任正三位參議 ナ九オ八行

位ニ任ト云フアリヤ疑ハシ 叙正三位兼參議ナドカ

及翼年ニ ナ九ウ三行

翼ハ翼ト通スルヤ 下同

髻年漂泊日之東 十九ウ八行

髻年ニアラスヤ

攜蟠衣玉帶 二十二オ八行

攜カ携カ

梅北某及隅熊本城

及ノ字殺ニテ可ナレカ隅ノ字攻戰アリテ殺獲モ多クアリテノ

ナンヽ梅北カ城主ノ留守ノ時トメ奪ヒタルカ如キニハイカヽ

秀吉妻長政女淀殿 二十四オ六行

如此アリテハ上ノ長政ト同人ノ如シ上ノ長政ハ淺野ナリコノ長政

ハ淺井ナリコノ五字ハ淺井氏トメ可ナシ

星益一意主欵 二十五オ九行

星ノ上ニ石ノ字アリタシ

関白秀吉 三十一行

関白ノ下ニ本書平ノ字アリ削ル一カラス興味ヲ

動兵興師 三十二行

動衆ニ作ル

何能成欵好 五行

欵好ノ下ニ也不思和ノ四字アリ

可以忠也 一

忠心ノ忠言ニ作ん

計貳百餘年ノ　四オ八行

年ノ下ニ雖王聖臣良無異唐虞三代世界而一念懷亲遠人

之道ノ字アリ

付我國生許豫　八九行

豫州ニ同本州通老張四郎賫到福建交遊與我我誦其文中

意趣是好ノ字アリ

附候鈎座　四ウ八行

鈎座ニアラスヤ

閔白當如礼臣議ニ

如禮臣議カ

好臣知秀吉意進之及計　六ウ四行

進之ノ告有ニメラレシノ事跡不知

付言薪以本光禪師僧宦　六ウ四行

僧宦ノ宦ナキカ方ヲ忘カ

春白土綱為賀　十九ウ注

白土ノ字誤ナキヤ

池田伊豫守　二十二ウ二行

名ハ景雄トアリ

太田小源五　三行

名ハ一吉トアリ以花驄字トモアリ

呼島津國訓 ハウ注

國訓二字ナキカ方ナラシカ

苑進忠 九ウ一行

苑拙蔵ノ手攘録ニハ作苑然レトモ異称日本伝モ作苑

完戸備前守 十オ二行

名武家名記ニ元経トアリ中古氏名記ニ隆家ニ作ル

為孝長又彈正約敬孝長難難 十一オ二行

為約ノ字ヲメカ(テハイナハ為ヲ約ニ約ヲ為ニ

遂不能陷 十二オ一行

不能克カ

呑紙 十三オ三行

伝代記ニ紙ヲカミトアリ呑字イカヽ

鄉之勇無所施矣 十三ウ三行

鄉ノ字アタラズ伝代記出サセタヨリ思イトヾリ之ニトアリ君ノ字カ

明紀事本末記前年条者誤讀明史也 十五ウ注

明紀事本末作明史ヨリ前トハコレナキヤ了考

洛陽大佛殿呼 十八オ八行

洛陽ハ平安カ殿呼ノ字不可ナンヲナキヤ

呼島津國訓為石曼子矣 二十三オ六行

826
83

石竇子ノ事出スヘカラス

筑前霸家臺 二十二ノ九行

博多ト書ノ誤ラシ明人ノ書法用ユ一ツ

墨菓國報 二十四ノ六行

菓樹長而菓二作ル

三韓修聘 三十八ノ五行

朝鮮トノ誤ラシ

国立国会図書館　タイトル『議台湾別志』　請求記号 826-83
ガラス使用

826
83

小笠原摂川毒事

[illegible]

[illegible]

文政十一年[illegible]

[illegible]

[illegible]

国立国会図書館　タイトル『議台湾別志』 請求記号 826-83
ガラス使用

826
83

帝國圖書館

以来臺灣紀事
世成刻如有志者
ゝ為事ゝ所聞ゝ
ゝ

文政十一年子
十月吉日

国立国会図書館　タイトル『議台湾別志』 請求記号 826-83
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『議台湾別志』 請求記号 826-83

ガラス使用